

令和7年度の重点課題

○5年生男女共通の課題
 ・全8種目中「握力」と「長座体前屈」と「ボール投げ」が県平均を下回っている。
 ○総合評価
 ・DE評価の児童が約17%である。

○5年生児童アンケートより
 ・体を動かす時間が30分～1時間30分未満の児童が14%
 ・ゲームやテレビ、スマートフォンを使用する時間が3時間以上の児童の割合が42%

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

・年間を通して、授業の始めにサーキット運動を取り入れ、筋力や全身持久力の向上を図る。
 ・おにごっこやドッジボールなどの活動を授業で取り入れることで、体を動かす楽しさを実感し、授業以外でも自主的にスポーツに取り組めるようにする。
 ・体育委員会や運営委員会と連携し、運動をするイベントなど楽しく体を動かせる企画をする。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.50	17.49	33.56	38.71	43.79	9.62	137.98	21.09	50.27	第5学年	14.78	17.22	38.78	37.53	37.86	9.51	139.94	12.48	54.42

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

令和8年度の県平均値が発表され次第更新します。

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	56.25	37.50	6.25	0.00	第5学年	52.78	25.00	16.67	5.56

学校独自の意識調査

「体を動かすことが好きですか。」の項目について、「好き」と答える児童の割合が88%を超え、体を動かすことに対して、多くの児童が肯定的な回答をしていた。一方、外に出て遊んだり、運動したりする児童の割合は62%という結果になった。今後は、より多くの児童が外遊びに取り組むようにしていきたい。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

年間を通して、体育の授業開始時の準備運動の中に、サーキット運動、遊びのすすめ、セツメニューを取り入れ、楽しみながら体力の向上を図る。

- ・安全な遊具遊びの提案
- ・体じゃんけん
- ・子とろ鬼
- ・段ボールの当て など

体育の授業以外で行う取組内容

- ・児童が主体的に休憩時に遊びに取り組めるよう、授業内でセツメニューなどで行える運動遊びの仕方を周知する。
- ・遊びのすすめ、セツメニューはラミネートをして教室に配布し、授業内容の運動領域に合わせて活用していく。
- ・体育委員会と連携し、運動をするイベントを企画する。

重点課題

情意面での課題

○児童アンケートより
 ・体育の授業が楽しいと答えた児童の割合が91%、運動が好きと答えた児童の割合が77%
 ・自主的にスポーツをしたくない児童の割合が25%
 ・体を動かす時間が30分～1時間30分未満の児童48%
 ・平日のテレビ、スマートフォンの使用時間が2時間以上の児童50%
 →体を動かすことが好きな児童が多い反面、テレビやスマートフォンを使用している時間の方が長い傾向がみられる。

体力面での課題

○5年男子
 ・8種目中6種目が県平均を下回っており、45%の児童がDE評価となっている。
 ○5年女子
 ・8種目中5種目が県平均を下回っている。
 ○総合評価割合
 ・総合評価割合がAB評価の児童が30%、DE評価の児童が35%と体力差が大きいことがわかった。

令和9年度の
重点目標値

- ・総合評価のDE率を20%以下にする。
- ・全般的な体力の向上に全校で取り組み、県平均を上回る児童の割合を増やす。